

スクラム

田中じゅんじ
尼崎市政レポート



2010.4-VOL.05

～たいせつな人たちとともに歩いていける尼崎へ～ URL <http://junt.blog.eonet.jp/>

今年とはら年。田中じゅんじは35才の年男です。
本年も初心を忘れず頑張ります。

高

齢者福祉費の大幅削減に反対

○平成22年度の尼崎市予算が3月25日に成立しました。

予算案等の中身は、市の施設利用料金の値上げ・行政協力員制度の廃止・民間保育園への待機児解消対策金削減など、市民に負担を求めるものがたくさんありましたが、負担軽減に実行責任のとれる財源をあてることは困難を極め、結果として一般会計予算の原案は共産党議員団以外の賛成により可決となりました。今後、影響が大きい条例案に「乗合自動車特別乗車証交付条例」がありました。これは高齢者への福祉施策である、市バスの敬老無料バス制を実質終わらせるというものでした。(下表参照)

◎田中じゅんじは「市バス敬老バス有料化」に反対の立場で採決に臨みました。

しかし下記の結果により、敬老無料バスは実質廃止となりました。

《高齢者バス乗車有料化の条例に賛成》 新政会/公明党/緑のかけはし(酒井議員・鬼塚議員・須田議員・高濱議員)/吉岡議員の計25名

《高齢者バス乗車有料化の条例に反対》 新風グリーンクラブ/緑のかけはし(都築議員・弘中議員・田中じゅんじ)/共産党議員団の計18名

反対理由は、①老人福祉費を見直す分、特別養護老人ホームの整備や児童福祉・障がい福祉にあてる等の本市福祉制度の方針は一切示されず「現金が無いから福祉予算を削る」というものでしかなかった事、②各説明会等で、定額制※での敬老無料バス存続の可能性について触れられず、当局は検討すらタブー視した事。一方で、市バス事業は高齢者が無料で乗っても乗らなくても、人件費等の高額な経費がかかる(市からの年間補助金3億7千万円/年間人件費一人あたり約960万円)ことで安泰ではありませんし、職員の退職金(H21年度平均額2千330万4千円)は何ら削られてもいません。市が早急に職員の退職金を減額し、バス事業の民営化を行ったうえで定額制※での敬老無料バス制度を復活されることを強く望みます。【田中じゅんじ】

※定額制：当局が「団塊の世代」をピークに老人特別乗車証負担金の右肩上がりを懸念材料にした事に対し、「バスを走らせる経費は一定である」として、固定(負担・補助)額により、無料乗車制度の継続は可能とする考え方

◆平成22年10月からの尼崎市営バス70歳以上の乗車料金表

実施時期	1回ごとの乗車賃	定期券(年間)料金※
平成22年10月～	50円	2,700円/4,500円/9,000円
平成23年10月～	50円	3,600円/6,000円/12,000円
平成24年10月～	100円	4,500円/7,500円/15,000円

※定期券方式では所得に応じて3区分される ①世帯全員が市民税非課税で概ね年収80万円以下/
②世帯全員が市民税非課税で概ね年収80万円以上/ ③世帯に市民税課税者がいる人

みんなで一緒に市政をチェックしましょう 市民オンブズ尼崎 参加者募集!

総会：H22年5月15日(土)午後1時30分～ (定例会は毎月第1土曜日の午後1時～)

場所：市立労働福祉会館 年会費：3千円/サポーター会費1口1千円 連絡先：090-8167-4198

